

# VR 技術者認定試験・講習会報告

## 第8回バーチャルリアリティ技術者認定試験・講習会(セオリーコース)

### 企画担当理事より

清川 清(大阪大学), 神部勝之(ソリッドレイ研究所),  
相澤清晴(東京大学)

本学会では教科書「バーチャルリアリティ学」に基づき、2010年4月よりバーチャル技術者認定試験講習会および試験を実施している。前半の1章から4章を対象とする「セオリーコース」と、後半の5章から8章を対象とする「アプリケーションコース」がある。いずれかの試験合格者には「VR技術者」の資格を認定し、順序を問わず両方に合格すれば「上級VR技術者」の資格を認定している。今回、第8回バーチャルリアリティ技術者認定講習会(セオリーコース)を東京大学にて2014年5月24日(土)に実施した。また、同認定試験を東京大学と大阪大学の2地区で2015年6月7日(土)に実施した。アプリケーションコースの実施は、今年の第6回以来であり都合6回目となる。

安定的に大勢の方々に参加いただけるよう、これまで様々な工夫を行ってきている。昨年度からはIVRCと連動した案内を試みており、IVRCの説明会においてバーチャルリアリティ技術者認定制度を紹介いただいている。また、企業向けの案内も強化したり、体験談などを盛り込んだ認定制度の紹介ホームページを新規に立ち上げたりしている。講習会受講料についても、前々回から正会員は10,000円、学生会員は2,000円に値下げしている。その結果、今回は認定講習会受講者38名、認定試験受験者49名に参加いただいた。前回のセオリーコース(それぞれ31名、33名の参加)を上回る盛況となった。特に、認定試験は過去最多の受験者数となった。

講師としては、教科書の1章から4章の執筆に携わった方々を中心に、それぞれの分野で活躍する先生方をお願いした。講習内容は基本的に教科書に沿ったものであり、毎回大幅に改訂する性質のものではない。そこで、講習資料については毎回それぞれの講師の方々に前回の資料を引き継いでいただいた上で、適宜さらなる拡充をしていただいている。試

験問題の守秘義務と認定試験の客観性・透明性を確保するため、従前どおり講師の先生方には実際の試験問題の内容を知らない状態で講習を行っていただいた。

試験問題は、これまでと同じく全問記号選択式として、問題作成編集小委員会によって作られた。試験の結果は、100点満点換算で最高92.9点、最低47.1点、平均78.0点であった。これまでもほぼ80%程度の平均正答率であり、例年なみの難易度であったといえる。最終的に、49名中48名を合格、1名を不合格とした(合格率98%)。

アンケートについて、講習会では内容、レベル、ボリュームともに満足、あるいはちょうど良いという回答が多かった。自由回答では会場の場所が分かりにくいといった意見があり、案内の改善を検討したい。DVDの内容が講習会の内容と重複しているといった意見もいただいたが、予習・復習を目的とした意図的なものであり、ご理解いただきたい。認定試験でも、内容、レベル、ボリュームについていずれも満足、あるいは普通という回答が多かった。講習会・試験の実施日については土日がよいという意見が多い。また、大会と連動した日程がよいかどうかは意見が分かれている。当面は大会と別日程の土日開催を継続する予定である。

今回は、2014年11、12月ごろにアプリケーションコースを対象とした第9回認定講習会・試験を予定している。今後の活動に引き続きご支援をいただきたい。

### 実施記録

#### ●講習会(セオリーコース)

日 時: 2014年5月24日(土)

会 場: 東京大学(本郷キャンパス工学部2号館244号講義室)

参加者: 38名(正会員2名, 賛助会員9名, 一般会員1名,  
非会員6名, 学生会員4名, 学生非会員16名)

#### <プログラム>

\*「バーチャルリアリティ学」をテキストに使用

○第1章: バーチャルリアリティとは (10:00 ~ 11:00)

講師: 小木哲朗(慶應義塾大学 教授)

○第2章: ヒトと感覚(前半) (11:10 ~ 12:10)

講師: 日高聡太(立教大学 准教授)

○第2章: ヒトと感覚(後半) (13:00 ~ 14:00)

講師: 茅原拓朗(宮城大学 教授)

○第3章: バーチャルリアリティ・インタフェース (14:10 ~ 15:40)

講師: 橋本直己(電気通信大学 准教授)

○第4章: バーチャル世界の構成手法 (15:50 ~ 17:40)

講師: 長谷川晶一(東京工業大学 准教授)

谷川智洋(東京大学 講師)



講習会の様子(東京会場)

## ●認定試験（セオリーコース）

日 時：2014 年 6 月 7 日（土）10:30～12:00

会 場：東京大学（本郷キャンパス工学部 2 号館 244 号講義室）

大阪大学（豊中キャンパス サイバーメディアセン ター）

参加者：49 名（東京 42 名，大阪 7 名），欠席者：3 名

合格者：48 名（正解率 60%以上合格）

## ■アンケート結果

講習会\*回答 18 名のうち 5 名は講習会不参加

講習会の内容について

満足	ほぼ満足	普通	やや不満	不満
3	3	7	0	0

講習会のレベルについて

高すぎる	やや高い	ちょうど良い	やや低い	低すぎる
0	3	9	1	0

講習会のボリュームについて

多い	やや多い	普通	やや少ない	少なすぎる
1	5	7	0	0

&lt;講習会について参考になった点&gt;

- ・大事な点を説明していただけるので教科書を読むより勉強しやすかった。
- ・教科書の内容をわかりやすく解説して下さり、より理解が深まった。
- ・各分野、概要的なところが説明されていて良かった。

&lt;講習会に対する意見，感想&gt;

- ・朝早くて眠かった。
- ・普段は関わりのないような分野の先生方の講義が聴けて良かった。
- ・講習会が土曜開催だったので，昼食の際，レストラン・食堂が休みのところが多く，人が混んでいて時間内に食事をとるのが難しかった。
- ・会場の場所がわかりにくかった。
- ・DVD は講習会の録画で構成されており，講習会を受講した者からすると内容が教科書と重複しているため，あまり意味がないように思った。

認定試験\*回答 18 名。

試験の内容について

満足	ほぼ満足	普通	やや不満	不満
8	5	5	0	0

試験のレベルについて

難しい	普通	簡単
3	12	3

試験のボリュームについて

多い	やや多い	普通	やや少ない	少なすぎる
1	2	13	2	0

&lt;試験に関する意見，感想&gt;

- ・教科書の本が難しい。
- ・テキスト第 2 章に関する設問のレベルが，他の章の設問と

乖離しているように感じたので，レベルを合わせて欲しいと思いました。

- ・事前準備に不安がありましたが，幸い合格できて安心しました。研究論文を書けるようになりたいです。

## その他

認定講習会の内容を収録した DVD について

利用した	利用しなかった
5	13

認定講習会の DVD の効果について

大変役に立った	少しは役に立った	どちらとも言えない	あまり役に立たなかった	全く役に立たなかった
5	0	8	2	0

講習会 / 試験の実施日について

平日がよい	土日祝日等休日がよい	どちらでもよい
2	12	4

大会との併催について

参加しやすい	どちらでもよい	大会とは別日程がよい
3	10	4

本講習会、試験をお知りになったきっかけについて

ご紹介	学会 HP	学会 ML	Twitter	知っていた	その他
9	6	0	1	1	2

ご自身についてお伺いいたします

学生	修士・博士	研究員	教職	会社員	その他
6	2	0	1	8	1

&lt;大会との併催についての意見，感想&gt;

- ・併催については特に意見はありません。ただし，できれば大会も土・日・祝日等の休日に実施していただくと有難いです。
- ・併催についてはどちらでもよいですが，その団体で参加人数がある程度（例えば 10 名など）まとまった場合，サテライト会場を設けてもらうなどは助かります。

&lt;講習会・試験についての体験談&gt;

- ・VR の歴史について，1960 年代から VR 製品が世に出ていることが非常に興味深かったと思います。
- ・社会人ドクター取得を目指しています。テキスト「バーチャルリアリティ学」は，体系的，先進的，汎用的に見ることができ，研究の土台作りに最適な書ではないかと思えます。またどこかで，著者の先生方や研究者実務者の方々などから，指導を受ける機会があれば幸いです。
- ・現在，VR 技術を活用したゲームの企画をしております。今回の講習会や試験で身につけた知識が大いに役立っています。まだまだ学ばなくてはならないことが山積みですので，今後も VR 技術についてより一層知識を深めていきたいと考えています。
- ・意外に知らなかったことも多くあり，改めておさらいする良いチャンスになりました。